

## 学校評価結果を活かした 2 学期学校運営

---

### 《学習面》

- 校内研や日々の実践を通して、教職員一人一人が楽しく分かる授業を作り上げていく。
- TT等、学校全体で取り組んでいく。
- これまでの研究をベースにして、「主体的・対話的で深い学び」につなぎ、確かな学力を身につけられるようにするために、研究授業や一人一実践の取組を充実させていく。併せてここ数年来の課題でもある発言に関しても、活発に行えるよう研究の一環として取り組み、さらに、各クラスの雰囲気づくりや人間関係についても考慮していく。
- 確かな学力定着のために、朝学、朝読書、家庭学習、家読、チャレンジルーム、チャレンジテストを引き続き行い、基礎的な学力の充実も図っていく。
- 各家庭にも家庭学習への協力をお願いし、家庭と連携を持ちながら充実させていく。

### 《生活面》

- 児童に関して校内で頻繁に情報交換を行い、情報を共有し職員全員が同じように対応できるようにしていく。また、家庭とも連絡を密にし、変化を見逃さないようにする。小さい学校なので、小さい学校なりの利点を生かしていく。
- 相手を尊重する気持ちを育てていく。
- 子どもたちの様子を細やかに観察し、丁寧に対応するとともに、自分たちで問題を解決できるように指導していく。

### 《安全面》

- 集団下校の時には「ふれ合い連絡会」「民生児童委員」「安協女性部」の方たちに見守りをしている。ただき大変助かっている。引き続きご協力をお願いしたい。
- 防災訓練は年間を通して充実していて、成果も上がっている。継続して指導していくことで、自分の安全は自分で守れるようにしていく。

### 《その他》

- 児童の学習・生徒指導の充実のためには、同時に教員の働き方改革も進めていく必要がある。単にこれまでのことを踏襲するのではなく、増えつつある学習内容を見据え、何が児童にとって本当に必要なのか検討を加え行事の精選や、会議の効率化、閉庁日の実施などを推し進めていく。
- 地域との連携については、お便り等を通して学校からの情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域からの意見に対応していくことで、さらに、信頼関係を深められるようにする。
- すももの里応援団を中心とした方たちの力を借りながら、地域の教育力を生かし、地域を誇りに思えるような実践をしていくとともに、連携を深められるようにする。